

令和 4 年 9 月 28 日

岐阜信用金庫
理事長 好岡 政宏

脱炭素化へ向けた取組み方針の策定・公表について

岐阜信用金庫（理事長 好岡 政宏）は、今般、下記の通り脱炭素化へ向けた取組み方針を策定しましたので、公表致します。

記

1. 策定・公表の目的

気候変動に関連し、脱炭素化や持続的な経営への転換等、様々な環境変化に直面する中、当金庫としても持続可能性を高めるための脱炭素化に向けた取組み方針を確立、長期的な目標を設定し、金庫内外に明確に示すことで、金庫内の取組みの加速化と共に地域社会や、お取引先の脱炭素化、サステナブルな経営を一層推進していく態勢を構築するものです。

2. 当金庫の脱炭素化へ向けた取組み方針の概要

《目指す姿》

岐阜信用金庫は、地球温暖化対策として脱炭素化への取組みを実践するとともに、脱炭素化やサステナブルな経営を目指す地域社会・お取引先を支援し、持続可能な社会の実現に貢献します。

(1) 金庫内における取組み

① 二酸化炭素排出量の削減

- ・ 2030 年度までに二酸化炭素排出量を 2013 年度比 50%以上削減します。
- ・ 2050 年度までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとします。

② 再生可能エネルギー電力への転換

- ・ 2050 年度までに使用電力の 100%を再生可能エネルギー電力へ転換することを目指します。

(2) 地域社会・お取引先の脱炭素化・サステナブルな経営実現に向けた取組み支援

- ・ 当金庫は、サステナブルなファイナンス機能の発揮や各種商品・コンサルティングサービスの提供を通じ、地域社会の環境負荷低減と地域のお客さまの脱炭素化支援に積極的に取組みます。

【サステナブルファイナンス目標（2022 年度～2030 年度）】

サステナブルファイナンス 5,000 億円
うち、環境分野（脱炭素）関連 2,500 億円

以 上

脱炭素化に向けた取組み方針について

岐阜信用金庫は、地球温暖化対策として脱炭素化への取組みを実践するとともに、脱炭素化やサステナブルな経営を目指す地域社会・お取引先を支援し、持続可能な社会の実現に貢献します

金庫内における取組み

二酸化炭素排出量の削減

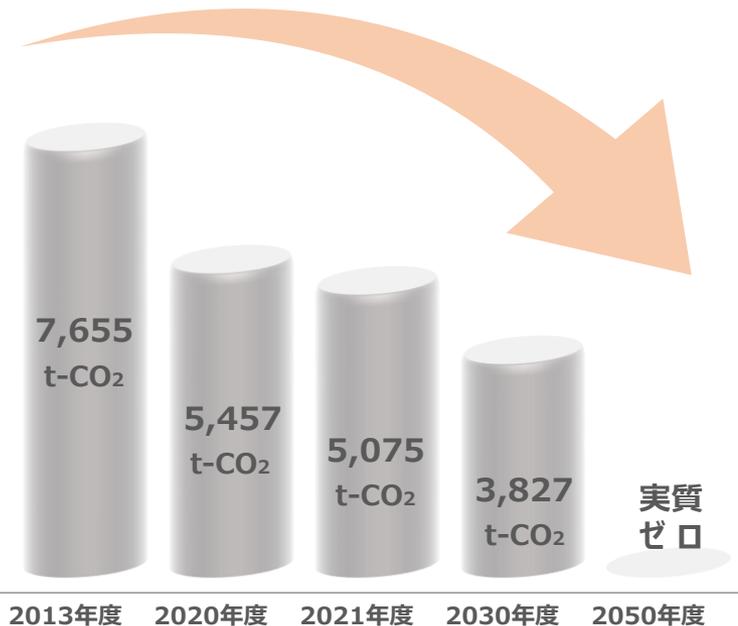
- 2030年度までに二酸化炭素排出量を2013年度比50%以上削減します
- 2050年度までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとします

再生可能エネルギー電力への転換

- 2050年度までに使用電力の100%を再生可能エネルギー電力へ転換することを目指します

当金庫における脱炭素化・環境負荷低減への取組み

- 本部や店舗等のLED化による電気使用量の削減
- 省エネ性能の高い空調設備への更新による電気使用量の削減
- 店舗新設・建替時における太陽光発電や蓄電池設備等の導入
- 営業車両のHV・EV化の推進
- 紙使用量の削減
- CO₂フリー電気の購入



脱炭素化に向けた取組み方針について

岐阜信用金庫は、地球温暖化対策として脱炭素化への取組みを実践するとともに、脱炭素化やサステナブルな経営を目指す地域社会・お取引先を支援し、持続可能な社会の実現に貢献します

地域社会・お取引先の脱炭素化・サステナブルな経営実現に向けた取組み支援

- 当金庫はサステナブルなファイナンス機能の発揮や各種商品・コンサルティングサービスの提供を通じ、地域社会の環境負荷低減と地域のお客さまの脱炭素化支援に積極的に取組みます

- サステナブルファイナンス目標（2022年度～2030年度）

○サステナブルファイナンス	5,000億円
○うち、環境分野（脱炭素）関連	2,500億円

※ サステナブルファイナンスの定義

- * SDGs、ESGを推進しているお取引先へのファイナンス
- * SDGs、ESGへの取組みを支援するファイナンス
- * 脱炭素化や省エネ等の環境問題に寄与するファイナンス
- * 社会問題の解決に資するファイナンス 等

※ 環境分野（脱炭素）関連ファイナンスの定義

- * サステナブルファイナンスのうち、二酸化炭素等の温室効果ガス排出量削減（カーボンニュートラル）に資するファイナンス 等

地域のお客さまに対する脱炭素化支援の取組み

- 脱炭素化支援や省エネに資する専用商品の提供とファイナンスの実施
- CO₂排出量や削減量の算定、削減策や削減計画の策定支援等、各種コンサルティングサービスの提供
- 外部機関との連携を含めたセミナー開催等の各種情報提供

長期ロードマップ

